



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島教区 電話099(26)5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部

道標



# 「新求道期間の道」の日本の責任者を招いて説明会

## 10月定例司祭集会

郡山司教は、十月二十三日(火)に開かれた定例司祭集会に「新求道期間の道」の日本の責任者を招き、教区の司祭団に彼らの活動内容を説明してもらった。これは、今年六月にスペインからの「宣教家族」を小宿教会に派遣していることもあり、教区司祭団にこの活動の内容を正しく理解してもらうのがその目的。

招かれたのは、グレゴリー神父、アントニオ神父、それに信徒のマリア・ピラさんの三人。グレゴリー神父は「自分が体験していること話す」と前置きし、「幼児洗礼でありながら、色々な事情で教会から離れ、まったく世俗的な価値観で過ごしていた青年の時、この仲間とある小教区で出会い、四年程のカテケージス(信仰の響き合い)を受けるうちに十字架のキリストの示された愛と一致を生きる大人の信者に変えられていった」ことなどを話した。また「このような

信仰的成長過程はこの道を歩んでいる人には共通のことであるが、ただ、この道に出会うまでは洗礼の意味を本当は分かっていた。だから『聖書の調べ』に基づくカテケージスを通して大人の信者に変えられる」と語った。説明の後、質疑応答がなされたが、何人かの司祭がこの共同体に対して抱いている疑問を投げかけ説明を求めた。ある司祭は「自分たちも宣教師として来日

し、同じようなことをしてきたのになぜ、その実りに違いが出るのか。ただ、新求道期間の道の熱心さは認める」などの発言があった。誕生後わずか四十数年で、世界中に七十の大神学校を持ち、またこの道を歩む人は約百万人と言われているこのグループだが、この爆発的な発展の裏には教皇の力強い後ろ盾と同時に聖霊の働きも見逃せない。

### 司祭評議会で来年の重要課題を審議

十月二十二日に開かれた司祭評議会は、(旧)来年十一月に長崎で行われる「ペトロ岐部と一八七殉教者」列福式への教区としての対応について、(来)来年の「教区フェスタ」と「教区評議会」の開催について審議し、以下のように決定した。「ペトロ岐部と一八七殉教者」列福式への参加については、開催日の十一月二十四日(振り替え休日)午後一時から四時にあわせて、「日帰りコース」「二泊コース」「二泊コース」など、より多くの人が参加

# 川内殉教祭

2007年 11月18日(日) 場所 川内カトリック教会  
●1時 Sr.山頭信子 レオ税所七右衛門物語  
●1時30分 ミサ(郡山司教)  
●3時 巡礼 京泊ロザリオの丘へ



薩摩の殉教祭 レオ税所七右衛門

お問い合わせ TEL 0996-22-3738 川内カトリック教会 FAX 0996-22-4654

「区評議会」の開催については、それぞれ一年交代で実施することになった。従って、来年は「教区評議会」開催の年となる。

また、教区評議会は鹿児島と奄美大島で開催され、それぞれ、鹿児島(十月十九日)、奄美大島(十月二十六日)、と決定された。テーマについては、来年の世界代表司教会議のテーマでもある「みことばと宣教」(仮称)になった。さらに、教区評議会が豊かな実りを結ぶためには「教区評議会準備委員会」をつくり、そこで、このテーマを如何に効果的に信者一人ひとりに浸透させることができるかなどを深く検討することが必要であるという点などが合意された。

## いのちを与えるミサにするには

### 頭島神父が定例司祭集会で報告

十一月二十三日に行われた定例司祭集会で、頭島神父(教区典礼委員長)は全全国典礼研修会の報告を行った。それによると、二〇〇四年に教皇庁典礼秘跡省から発布された指針「あがないの秘跡」の目的と狙いは、第二バチカン公会議が目指した典礼の刷新にはこの四十年間に必ずしもよい成果だけではない、悪い結果もあり、教会に混乱を引き起こしている事実を指摘し、それを改善する責任が教会にはあること。

また、悪い結果をもたらしている原因の一つには、典礼刷新のあり方として、十一月二十三日に行われた定例司祭集会で、頭島神父(教区典礼委員長)は全全国典礼研修会の報告を行った。それによると、二〇〇四年に教皇庁典礼秘跡省から発布された指針「あがないの秘跡」の目的と狙いは、第二バチカン公会議が目指した典礼の刷新にはこの四十年間に必ずしもよい成果だけではない、悪い結果もあり、教会に混乱を引き起こしている事実を指摘し、それを改善する責任が教会にはあること。

## YET

「一緒にいてくれてありがとう」これは出産を終えた妻の最初の一言だった。前

日の午後陣痛と思ぼしきものが始まり、病院へと駆け込んだのがその一時間後。そして十二時間にもぼる痛みとの戦いの後、新しい命の誕生を見た▼傍らにいて、実に男は無力だということと女性の強さを感じ取った。出産後の妻は数時間の間、立つことも、単に呼吸をするというのにもまなならない。体中の、そして何となく歯を食いしばったせい、あごの筋肉までもが痛いという。今でもあの時の「痛い、痛い、痛い」と叫ぶ声が耳から離れようとしていない。そして自分もこうして人を苦しめた挙句に命をもらった。「なのに...」やり直せない人生をちよっぴり恨んだりもする

▼数日後、その子を「寛大(かんた)」と命名した。もちろん親の勝手な希望で、どんなことがあっても他人にやさしくできる人に育って欲しいと考えたからだ。でも「悲しみの数だけ人はやさしくなれる」と、歌う人もいる。そうだとしたら子どもにとんでもないことを願ってしまったのかもしれない。あとはただ困難の時にこの子を支えてくれるものを与えてあげられない、そう思う。守護の天使の記念日(十月二日)に生まれた寛大、いつか願いが叶う日には、「それでも」の思いで生かされるよう洗礼名を「アンジェロ」(天使)としてあげたい。

## 新風 一筋の道

イエスは言われる。「だから、だれでも人々の前で自分をわたしの仲間であると言いつくす者は、わたしも天の父の前で、その人を私の仲間であると言いつくす」(マタイ10章32節)。この言葉は生涯の終わりに審判者である神の前に出るようになるわたしたちキリスト信者の状況を示唆しています。自分の救い主としてキリストを受け入れ、彼の教えに従い、彼の口から出ることはとからだに生かされて生きていくわたしたちは、この世にいる間、人々の前で、「私はキリストの仲間である」と言い表さなければなりません。「言い表す」こ

とは「宣言する」ことだと主張する有名な司祭がいますが、「わたしが暗闇であなただけに言うことを明らしてみよう。耳打ちされたことを屋根の上で言い広めなさい」(同上27節)、というイエスの趣旨からすれば、妥当なことだと思えます。

この月、亡くなった方々の永遠の安息を祈るとともに、自分の死に対する心構えも新たにします。さて、今年から日本の教会ではこの月に新しい風が吹きわたります。「ペトロ岐部と一八七殉教者」の列福がそれです。特に我らがレオ税所七右衛門の命日は十一月十七日です。私たちが信仰の証と死との繋がりについて黙想できませぬ。彼は自分がキリストの仲間であることを宣言したことで、殺さ

れる羽目になった人です。洗礼から殉教まで、そう単純に物事が進んだわけではありません。多くの苦渋の選択の末、このような結末を迎えたのです。最後まで彼の心を支えていたのは、「体は殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐れるな。むしろ、魂も体も滅ぼすことのできる方を恐れなさい」(同上28節)というイエスの言葉だったのではないかと私は思っています。

レオ税所七右衛門の列福はわたしたち一人ひとりに信仰の質を問いかけているようです。(H・N)

# さまざまな慣習の中に神の心を見る

1、構成  
 ※リーダーによる説明 (15〜30分)  
 ※参加者を温かく迎える  
 ※主をお招きするための祈り  
 ※今日の講座の流れを説明  
 ※分かち合いのルールについて

「テンバは老人です。彼  
 は自分の共同体の中で非常  
 に尊敬されていて、何か問  
 題が起こるたびに呼ばれて  
 いました。しかし、テンバ  
 は教会が嫌いでした。キリ  
 スト信者の隣人と自分たち  
 の国の昔からの風習につい  
 て激しく言い争ったことが  
 あります。彼は、キリスト  
 信者が昔からのいろいろな  
 慣習を悪魔の業だと言いつ  
 て見下しているとしてキリス  
 トを非難しました。そ  
 う言う彼に対して、多く  
 のキリスト信者はうまく答  
 えることができませんでし  
 た。みんな反論はするのだ  
 すが、自分たちも確信があ  
 りませんでした。」

2、※テキストはこう  
 した年配の非キリスト者の  
 方がキリスト教を嫌ってい  
 る、それはキリスト教が地  
 域の古くからの伝統や慣習  
 を無視するからだ、という  
 のです。でも、こうした問  
 題を考える前に、日本の社  
 会の場合は次のことを振り  
 返ったほうがいいのではな  
 いでしょうか。

## 北薩地区宣教奉仕者養成講座②

出水教会主任司祭 大松 正弘

① 私たちの周囲から「非  
 常に尊敬されているおじさ  
 ん」がいますか？(おばさ  
 ん)でもいいですが、いなけ  
 れば、昔いましたか？いつ  
 ごろからいなくなりました  
 か？なぜいなくなったので  
 しょうか？

② わたしたちの「慣習」  
 や「伝統」にはどのような  
 テサロニケの信徒への第  
 一の手紙五章14節〜22節を  
 読んでみましょう。

問いかけ(まず五分間そ  
 れぞれ自分を振り返り、必  
 要に応じてメモしてください)  
 「兄弟たち、あなた方  
 に勧めます。怠けている者  
 たちを戒めなさい。気落ち  
 している者たちを励ましな  
 さい。弱い者たちを助けな  
 さい。すべての人に対して  
 忍耐強く接しなさい。誰  
 も悪をもつて悪に報いるこ  
 とのないように気をつけな  
 さい。お互いの間でも、す  
 べての人に対して、い  
 つも善を行うよう勧めな  
 さい。16 いつも喜んでいな  
 さい。17 絶えず祈りなさい。

※21節の「すべてを吟  
 味しなさい」何をどのよ  
 うに吟味するのですか？  
 (隣同士での分かち合い  
 と全体での発表)

ものがありませんか？ 今の  
 社会にそれが失われつつあ  
 るなら、それぞれの属する  
 集団(例えば「家庭」「学校」  
 「職場」「地域社会」「教会」  
 での「慣習」「伝統」を振  
 り返るといいでしょう。そ  
 して、キリスト教会はこう  
 した「慣習」や「伝統」に、  
 どのように対応してきたと  
 思いますか？

3、リーダーによるま  
 とめ。内容についての質  
 問やコメントが出され、  
 長くなることもあります。  
 (10〜15分)

※小グループに分かれて  
 の分かち合い。自分の生き  
 方と照らし合わせて(各問  
 いかけについて10分、全体  
 では30〜40分)

4、祈り(自分を神の  
 前に置き、振り返る。10  
 分)  
 聖霊は今もわたしたち  
 を導き、わたしたちの目  
 を開き、見えるようにし  
 てくださいます。わたし  
 たちは神に向けて自らを  
 開き神のまなざしですべ  
 てのこを見るよう求め  
 られています。  
 わたしたちの生活の中  
 で何が良く、何が悪いか  
 を見分けることができま  
 すように。

**新書 『雨だれの音が聞こえる』**



著者の田ノ上淑子さんは  
 ザビエル教会所属。「隣人の  
 影」で二〇〇六年度の南日  
 本文学賞を受賞している。  
 「神の御旨のままに」と祈  
 る余裕はない。神よ、御旨の中に夫の命は助か  
 ると入れてください(本文から)は、著者の必  
 死の願い。突然病に倒れた夫に付き添い、自宅  
 介護に至るまでの五年間の苦闘の日々を赤裸々  
 に綴ったドキュメンタリー。 高城書房 定価  
 千五百円(ザビエル書院でも発売)

**探しています!**  
 野宿の方々の散髪してくださ  
 る方を求めています。  
 ザビエル教会夜回りの会  
 世話人・山田 (tel226-2430)

教区司祭会議後の会食  
 時、「小平神父さんの兄上  
 帰天」の訃報。「僕が行く」  
 即座に答えた。昨年まで  
 「うちの信者」だったか  
 ら当たり前?ともあれ二  
 週間の主任司祭代行から  
 ちようど二週間後にまた  
 も志布志に行くことにな  
 るうとは。  
 翌日の司祭定例会午後  
 の部は新求道期間の道に  
 ついての日本代表の三人  
 による紹介講話。三人の  
 分かち合いはそれなりに  
 感動的。一時間の質疑応  
 答は意外と紳士的でホッ。  
 「これまで聞いていたこと  
 と実際にホンモノの話と  
 はずいぶん違っていて感  
 動しました」。面と向かっ  
 て対話することの大切さ  
 を痛感。  
 三人の労をねぎらう間  
 もなく、あたふたと志布  
 志へ。「通夜七時。皆さん  
 に連絡を。六時前に着く  
 ので教会を開けておいて  
 欲しい」携帯メールで連  
 絡。信者たちは六時の集  
 合を話し合っていたとい  
 う。予想した通りという  
 か、チームワークは二年  
 後の今も高機能。なんと  
 なく嬉しかった。一行七  
 人。昼間に確かめたと  
 は



### 司教執務室 便り

### 信仰の先達者逝く

余裕の到着。  
 病院嫌いで自宅での  
 療養にこだわり、十月  
 二十二日、救急車で運ば  
 れ、九時間ほど病院で手  
 当てを受けただけで、息  
 子さんも間に合わなかつ  
 たほど、あつという間に  
 帰天されたという。「大往  
 生でした」息子さんの言  
 葉には父上の一途さを称  
 える響きがあった。  
 志布志の地に初めて信  
 仰の恵み運んだのは他  
 ならぬこの小平家だった。  
 あの博学な小平神父さん  
 は末弟。健康を損なわれ  
 ても、終始信者たちの信  
 仰の支えであった大きな  
 柱がまた一つ欠けた。弟  
 神父とともに永遠の安息  
 を。

# 大熊小教区初の女児侍者誕生 九月十六日に侍者会入会式

九月十六日(日)浦上教会でのミサ中、侍者会入会式がありました。小学二年生から六年生までの児童八人(内五人が女児)が新侍者となりました。女児の侍者は小教区では初めてのことでした。



きれいに手を合わせる侍者たち

主任司祭の橋口神父から手渡され、短い訓辞(まじめに務めるように)があり、指導者の嘉元伸一さんから「早くも侍者の中から聖職者の召命も期待されるが」とのコメントもありました。ミサ後、主任司祭ときれいに手を合わせた侍者たちは外のルルドの前で記念撮影をしました。

その後、信徒会館(ルルド館)でお祝いの茶話会をし、楽しい一日を過ごしました。新しい侍者は次の通りです。(敬称略)

- 前里一希
- 増根海夏、泉
- 都喜嗣、赤塚
- 大夢、福崎梨
- 花、嘉元まり
- あ、小沼空見

## 11月18日は川内殉教祭 来て見て感じてください!

今年も薩摩の殉教者・レオ税所七右衛門の殉教祭が教区行事として、十一月十八日(日)川内教会であります。ミサを司式するのは郡山司教です。ペトロ岐部神父と一八七人の殉教者の列福式が、来

年平成二十年十一月二十四日に長崎で行われることが決まりました。この中の一人がレオ七右衛門です。殉教者は生きています。殉教祭で、これを感じ、味わってください。私たちの信仰を見つめ、いえ、自分

川内教会 石田 幹雄

曾根海帆  
侍者会のきそく  
①わたしは、ごミサや教会学校に、休まずくようがんばります

## すべては家庭から始まる 女性信徒の会講演会で川添神父



当たり前のごとく大切と話す川添神父

十月八日(月)午後、鹿児島カトリック女性信徒の会(平野博美会長)の講演会がザビエル教会であった。講師は川添神父(熊本・帶山教会)

で、九十人あまりの同会会員、信者たちが「家庭―愛といのちのきずな」について学習した。「家庭の中で生命は育ち、そこからすべてが始まる。だからキリストも家庭に誕生された」とする川添神父は、

②わたしは 侍者に おくれないようにします  
③わたしは、ごミサのどうぐをきちんとあつかい侍者服を大切にします  
④わたしは、べんきようあそび てつだいをがんばります  
⑤わたしは、友だちとなかよくし たすけあいます  
(通信員 平 三國)

### 「短信」

▼巡礼伊集院  
聖フランシスコ・ザビエルが当時の藩主島津貴久と謁見し、布教の許可をもらった伊集院一宇治城跡への徒歩巡礼が九月三十日(日) 青年主催で行われた。参加者は二十五キロあまりの道を六時間余りかけて歩ききり、その後のミサでザビエルの遺徳を偲んだ。

現代の家庭ではとても大切なことが忘れ去られていると指摘し、改善して欲しいといくつかの例を挙げた。神父が指摘したのは「子どもに父母を敬うように教育すること」「質素でも母親の作る食事には力の源があるから、それを皆で食べること」「幼い子どもで自分の持ち物は持たせること」など。人を食ったような独特のリズムと語り口で聴衆を引きつけ、「家庭を通じていのちの文明は始まる。いのちの始まるころからすべてが始まる。家庭をしつかり活かして欲しい」と語った。

## どうじゃ! 28キロ 大物釣った美島神父



九月のとある日、生まれ故郷奄美大島で休暇を過ごした美島春男神父は、なんと百二十センチ、二十八キロものカンパチを釣り上げ、ご満悦。得意なのは、教会に人を引きずり込むことだけではない。



▼マリアポリ  
初代教会のように生きようとするフォコラーレ運動のマリアポリ(マリアの町)が、九月三十日(日) 午前十時から夕方まで教区本部で開かれ、多くの信者が兄弟姉妹としての触れ合いのひとときを持った。

▼青年たちが聖歌練習  
毎年、カテドラルでのクリスマス深夜ミサを担当している青年たちだが、十月に入って今年のミサのための聖歌練習を始めた。

▼M・E九州地区の集い  
十月八日(月) 教区本部に九州各地からのM・E会員数家族が集まり、分かち合いを行った。

## 11月 今月の暦

- 1日(木) 諸聖人
- 2日(金) 死者の日
- 4日(日) 年間第三十一主日
- 8日(木) マリン神父叙階記念日(一九七五年)
- 9日(金) ラテラン教会の献堂
- ▼メニヒ神父霊名(テヨドル)
- ▼第四十九回カトリック看護協会全国大会・鹿児島純心女子大学・10日まで
- 10日(土) ガブリエル神父命日(一九七八年)
- 11日(日) 年間第三十二主日
- 18日(日) 年間第三十三主日

▼川内殉教祭・川内教会・13時  
▼聖書週間・25日まで  
神の愛を知り、神の心を受け取るために、わたしたちは新約聖書と旧約聖書を神のことばとして読み、大切にします。「聖書週間」は、すべての人、とくに信徒が、この聖書に「より強い関心を持ち、親しみ、神の心に生きる」ようになるための週間です。

各教区では、聖書への感心を高め、より親しむために、講演会、研修会、展示会などの催しが計画されます。このような催しに進んで参加するとともに、自分でも積極的に聖書に近づきましょう。たとえば、毎日欠かさず聖書を一章ずつ読む方法や、ミサにあずかれなくても、ミサの聖書朗読の当日分を毎日読む方法も勧められています。

- 19日(月) レデンプトル会例会
- 20日(火) 奄美例会
- ▼三木巖神父命日(二〇〇〇年)
- 25日(日) 王であるキリスト
- ▼駐日教皇大使公式訪問ミサ・カテドラル・15時30分
- 26日(月) 駐日教皇大使公式訪問ミサ・名瀬聖心教会・17時
- 30日(金) 聖アンデレ使徒

## 黙想会のご案内

テーマ 今を生きる  
講師 W・キツペス神父(レデンプトル会)  
日時 12月8日(土) 10時~9日(日) 16時  
場所 マリア山荘(霧島市溝辺町麓 三六一六―四)  
申込み 西 〇九九五(六三三) 一九四三三  
宮地 〇九九(二六二) 四〇二二

ドイツにおけるスピリチュアルケアを学ぶため、十三日間（九月十五日～二十七日）の研修旅行に参加しました。

ホスピスを六カ所、大病院と軍人病院を含む四カ所の公立病院、臨床パストラルケア研修センターをW・キッペス師と共に訪れ、ドイツ国内でスピリチュアルケアが実践されているのを見せていただきました。実際に患者さんと共に過ごしているスタッフとの対話の中で多くを学ばせていただきました。

### ドイツのホスピス

日本のホスピスの多くはホスピス棟（緩和ケア病棟）で、医師が主導権をもっている印象が強いですが、私たちが訪れたドイツのホスピスの責任者は、経営者・管理職で、医療的なケアは看護師に任されています。がんなどの痛みのコントロールに関しては、経験豊富な看護師のほうに医師よりもきめ細かく適切に対処できるという説明には説得力がありました。

## ドイツのスピリチュアルケアとホスピス研修旅行に参加して

吉野教会 松村 恵理

医師は週に二回程度、治療というよりは病状に関してスタッフと相談するため訪れるとのことでした。人生の最期の時期を生きる患者さんの尊厳を守り生活の質を高めること、痛みをコントロールすること、ご本人の意思を尊重することを基本にケアがなされています。

### 子どもホスピス

子供を亡くされた経験をもちつ夫妻によって設立された子供ホスピスでは、「お祭りのように過ごさせてあげたい」と屋内プール、音楽やアロマ、光を使ったセラピーの部屋、横になったまま空を見、自然を感じられるようなガラスに囲まれた全天候型テラス、ウサギやハムスター、ろば（背中にのれる！）が飼われているミニ動物園まであり、ご

夫妻にとつて、このホスピス全体が幼くして旅立ったひとり息子さんの生きた証となつていのように感じました。

ドイツの子供ホスピスの特徴として、重病の子供のケアだけでなく、その子供の両親、日ごろ後回しにされがちな兄弟たち家族全体を支えることをめざしているのがすばらしいと思えました。家族でゆっくり泊まれる部屋や兄弟たちのための遊具、一人で祈ったり泣いたりできる静かな部屋特に「お別れの部屋」には子供に先立たれた両親、家族への愛情が感じられました。入院していた子供は、

死を迎えると、病室を出てこの「お別れの部屋」に移されます。家族は、静かにゆっくり（望むなら数日でも）子供との最後の時間を過ごすことができるように配慮されています。プライバシーの守られた中庭もありました。「子供を手離す覚悟ができるまで待つ」という配慮を感じました。

またその後も、両親はこのホスピスをいつでも訪れて、自分達が子供を偲んでペイントした小石を沈めた美しい池のそばで過ごすことができます。草や木に囲まれたこの場所で、風の音、水の流れる音を聞きながら



りにしたものが聖堂の壁に貼り付けてあり、全体が



④いつまでも子どもを偲ぶことのできる池  
⑦故人の名が刻まれた生命の木

（であること）を改めて感じ、マルタとマリア姉妹のことも思い出しました。生産性とはかけ離れた「見えないけれど、人間にとつて大切なもの」に価値を感じて力を注ぐことがそれぞれホスピスの実践しているスピリチュアルケアでした。

### 終わりに

日本の福祉・医療の現場では、経済的なことが優先されるといふ厳しい現実があります。

それでも「見えないけれど、大切なもの」と共に生きようとする人が集まったところに、スピリチュアルケアの実践があると信じています。大切なのは、建物や設備ではなく、人。今私

ベンチに座って過ごす時間はきつと両親に慰めを与えたと感じました。目に見えないわが子と共にいることを感じる瞬間でもあるように思いました。愛する者へ失った痛みに向き合う人への配慮が形になった空間でした。

### 深い絆

またあるホスピスでは、患者さんが「ここにいた証として「生命の木」を大切にしています。旅立たれた方の名前が書いてある小さなプレート（木を輪切

## 文芸

### 俳句（思川俳句会作品）

#### 市来房枝選

出水 遠竹 睦郎  
整然と神の意のごと鶴の棹  
（評）鶴の飛来を待ち焦がれる一句

鹿児島 徳永ノブ子  
祭壇に活けしコスモス淡々と  
（評）季節の移行を旨く捉えた一句

純心学園 川上 和  
学園のハイビスカスの色褪せり  
（評）季節の移行を旨く捉えた一句

出水 弘子  
島裏の秋水溢れマリア像  
（評）季節の移行を旨く捉えた一句

阿久根 中津濱フサエ  
満月や窓辺にすだく虫の声  
鹿児島 春山マリ子  
秋の風想い出のせて吹き渡る

#### 鹿児島 龍門司真人

忘れぬ開闢岳の筆のいろ

### 短歌（思川短歌会作品）

#### 市来房枝選

大口 森 博伸  
幼な児がみ前に花を手向けしは母よ  
見ゆるや我が孫なりき  
（評）孫の姿を見ずに逝かれた母上への切ない気持ちが詠まれている。

出水 遠竹 睦郎  
スイスより妹の買ひ来し人形を棚に飾ればいと華やげり  
（評）一首目、お人形はチロル地方の民族衣裳を想像させる。

出水 遠竹 睦郎  
空高く棹を作りて舞ふ鶴の訪れ近き冬遠からじ  
（評）一首目、お人形はチロル地方の民族衣裳を想像させる。

阿久根 中津濱フサエ  
冷たさに耐へて五年目痛む足庇ひて歩く一日一日を  
鹿児島 春山マリ子  
賜はりし花野をいだく薩摩富士画きし人の笑みかける峰  
鹿児島 田平新太郎  
夢にみしルルドを吾は訪れて聖歌うたひて沐浴待てり

阿久根 中津濱フサエ  
冷たさに耐へて五年目痛む足庇ひて歩く一日一日を  
鹿児島 春山マリ子  
賜はりし花野をいだく薩摩富士画きし人の笑みかける峰  
鹿児島 田平新太郎  
夢にみしルルドを吾は訪れて聖歌うたひて沐浴待てり

#### 純心学園 川上 和

シンボルの白き尖塔丘に建つアジジの聖者を偲びて仰ぐ

鹿児島 前田 儀子  
孫の弾くシヨパンの夜想曲聴きつ長生きせねばとしく思ひぬ  
奄美 林 明子  
まだ見えぬ愛を求めてさまよへり吾を独りにし給ふなかれ

阿久根 中津濱フサエ  
手を引かる八十の路険しけり明日に望みを求め祈らむ  
鹿児島 春山マリ子  
冷たさに耐へて五年目痛む足庇ひて歩く一日一日を

鹿児島 田平新太郎  
賜はりし花野をいだく薩摩富士画きし人の笑みかける峰  
鹿児島 田平新太郎  
夢にみしルルドを吾は訪れて聖歌うたひて沐浴待てり

阿久根 中津濱フサエ  
手を引かる八十の路険しけり明日に望みを求め祈らむ  
鹿児島 春山マリ子  
冷たさに耐へて五年目痛む足庇ひて歩く一日一日を

鹿児島 田平新太郎  
賜はりし花野をいだく薩摩富士画きし人の笑みかける峰  
鹿児島 田平新太郎  
夢にみしルルドを吾は訪れて聖歌うたひて沐浴待てり

阿久根 中津濱フサエ  
手を引かる八十の路険しけり明日に望みを求め祈らむ  
鹿児島 春山マリ子  
冷たさに耐へて五年目痛む足庇ひて歩く一日一日を